



# 仕入先CSRガイドライン



2015年4月1日

株式会社 **キャタラー**

発行 / 株式会社キャタラー  
発行年月 / 2015年4月1日

## ●はじめに

私たちキャタラーは創業以来、触媒や活性炭により空気や水を浄化する新しい環境技術を開発し、グローバル規模で環境問題の解決に取り組んでおり、人と環境に優しい製品をお客様にお届けし、持続可能な未来社会創りへの貢献に努めて参りました。

その間、社会環境の変化に伴い、様々な困難に直面することもありましたが、確固たる理念を持つことが重要であるとの認識に立ち、「キャタラー経営理念」の制定と行動指針を明確にしました。

そして「キャタラー経営理念」にお示した考え方をステークホルダーの皆様との関係において整理し、企業として担うべき社会的責任の観点から、2013年10月に「キャタラーグループCSR方針」としてまとめました。

「キャタラーグループCSR方針」の前文において、仕入先の皆様にこの方針の趣旨をご支持いただき、それに基づいて行動いただくことへの期待を書かせていただいております。仕入先の皆様との相互信頼に基づき、お取引が継続できますよう「キャタラー仕入先CSRガイドライン」を策定しました。

仕入先の皆様におかれましては、本ガイドラインの趣旨をご理解いただき、法および法の精神を遵守し、自らの社内で実践いただくとともに、皆様の仕入先に対しましても、本ガイドラインの趣旨のご理解と実践をご要請いただきますようお願い申し上げます。

株式会社キャタラー  
代表取締役社長

## ●経営理念

1. 内外の法及びその精神を遵守し、オープンでフェアな企業活動を実践する。
2. 人と環境のより良い調和を目指した先進的技術・製品の提供を通じて、顧客の満足と豊かな社会造りに寄与する。
3. 労使相互信頼を基盤とし、社員がその能力を最大限に発揮できる企業風土を醸成し、日々新たな可能性に挑戦する。
4. 地域の発展に貢献するとともに、地域の人々から愛され、信頼される企業を指向する。

## ●キャタラーグループCSR方針

私たち(株式会社キャタラーおよびその子会社)は、「経営理念」に基づき、グローバル企業として、各国・各地域でのあらゆる事業活動を通じて、社会・地球の調和のとれた持続可能な発展に率先して貢献します。

私たちは、国内外・国際的な法令並びにそれらの精神を遵守し、誠意を尽くし誠実な事業活動を行います。

私たちは、持続可能な発展のために、以下のとおり全てのステークホルダーを重視した経営を行い、オープンで公正なコミュニケーションを通じて、ステークホルダーとの健全な関係の維持・発展に努めます。

私たちは、取引先がこの方針の趣旨を支持し、それに基づいて行動することを期待します。

## お客様

- 私たちは、「お客様第一主義」という信念に基づき、お客様のさまざまな期待に応える革新的・高品質な製品を開発・提供します。
- 私たちは各国の法およびその精神を遵守し、お客様をはじめ事業活動に関わる全ての人々の個人情報保護の徹底に努めます。

## 従業員

- 私たちは、「事業活動の成功は、従業員一人一人の創造力と優れたチームワークによってこそ達成される」との信念のもと、従業員を尊重し、個々人の成長を支援します。
- 私たちは、均等な雇用機会を提供するとともに、従業員の多様性・一体感の確保に努力します。また、従業員に対する差別を行いません。
- 私たちは、全従業員に対し公正な労働条件を提供し、安全かつ健康的な労働環境を維持・向上するよう努めます。
- 私たちは、事業活動に関わる全ての人々の人権を尊重し、いかなる形であれ強制労働・児童労働は行いません。
- 私たちは、従業員との誠実な対話と協議を通じ、「相互信頼・相互責任」の価値観を構築し共に分かち合います。  
そして、従業員と会社がお互いに繁栄するよう共に努力します。  
私たちは、従業員が自由に結社する権利または結社しない権利を、事業活動を行う国の法令に基づいて認めます。
- 私たちは、経営トップの率先垂範のもと、倫理的な行動を促す企業文化を育て、それを実践していきます。

## 取引先

- 私たちは、取引先を尊重し、長期的な視野に立って相互信頼に基づく共存共栄の実現に取り組めます。
- 私たちは、取引先の決定にあたっては、全ての候補に対しその国籍または規模に関わらず門戸を開き、その総合的な強みに基づき判断します。
- 私たちは、各国の競争法の規定と精神を遵守し、公正かつ自由な取引を維持します。

## 株主

- 私たちは、株主の利益のために、長期安定的な成長を通じ企業価値の向上を目指します。
- 私たちは、株主に対して、事業・財務状況と成果の適時かつ適正な開示を行います。

## 地域社会・グローバル社会

### 【環境】

- 私たちは、あらゆる事業活動を通じ環境保全に努め、環境と経済を両立する技術の開発と普及に取り組むとともに、社会の幅広い層との連携を図り、環境との調和ある成長を目指します。

### 【社会】

- 私たちは、各国の文化・慣習・歴史および法令を尊重し、それぞれの地域社会から信頼される経営を実践します。
- 私たちは、社会が求めるサステナブル・モビリティの実現に向けて、安全でクリーンかつ社会のニーズを満たす優れた技術を常に追求します。
- 私たちは、政府や取引先による贈収賄を許さず、行政府諸機関と誠実かつ公正な関係を維持します。

### 【社会貢献】

- 私たちは、事業活動を行うあらゆる地域において、独自にまたはパートナーと協力して、コミュニティの成長と豊かな社会づくりを目指し、社会貢献活動を積極的に推進します。

## ●仕入先CSRガイドライン

キャタラーは製品・サービスの提供を通じ、住みよい地球と豊かな社会づくりへ貢献するために、グローバル規模での環境マネジメントの徹底と持続可能な社会の実現に寄与していきたいと考えております。

そこで仕入先の皆様の社内において、下記項目への取組みの浸透・普及に努めて頂きたいと思っております。

### 1. コンプライアンス

#### ＜法令及びその精神の遵守＞

- ・地域の法令並びにそれらの精神を遵守する。
- ・コンプライアンス徹底の為に、方針や体制、行動指針・通報制度・教育などを整備する。
- ・私的独占、不当な取引制限(カルテル、入札談合等)、不公正な取引方法、優越的地位の濫用など、競争法に違反する行為を行わない。

#### ＜機密情報の管理・保護＞

- ・営業秘密などの、自社の機密情報を厳重に管理し、その利用を適切に行う。
- ・他社の機密情報は正当な権限者から正当な方法で入手すると共に、利用範囲その他の条件を確認し、その範囲内においてのみ使用し、機密を保持し、他社の権利を侵害しない。
- ・従業員、お客様や取引先などに関する個人情報、すべて正当な方法によってのみ入手するとともに、入手した情報は厳重に管理し、適正な範囲で利用し、保護する。

#### ＜輸出取引管理＞

- ・輸出取引管理に関する法令に従い、輸出する製品・技術等について、規制品目かどうかを確認の上で該非判定書を作成・提供するなどの管理を徹底する。

#### ＜腐敗防止＞

- ・政治献金・寄付等は、各国の法律に従って実施し、政治・行政と透明かつ公正な関係づくりに努める。
- ・不当な利益や不当な優遇措置の取得・維持を目的に、顧客・調達先、その他のビジネスパートナーに対して、接待・贈答・金銭の授与・供与は行わない。

## 2. 人権・労働

### <差別撤廃>

- ・あらゆる雇用の場面（応募、採用、昇進、報酬、教育を受ける権利、業務付与、賃金、福利厚生、懲罰、解雇、退職等）において、人種、民族や出身国籍、宗教、年齢、性別等の該当法令で保護されるべき個性を理由とした差別を行わない。

### <人権尊重>

- ・人種、民族や出身国籍、宗教、年齢、性別等の該当法令により保護されるべき個性を理由とした、職場におけるあらゆる形態のハラスメントを許さない。
- ・業績を妨げたり尊厳を傷つける、または脅迫的、敵対的もしくは不快な就業環境を生み出すような、従業員に対して行われる言語、視覚、身体による行為はハラスメントとみなされる。
- ・いかなるハラスメントの苦情に対しても、直ちに報告や調査を行う。
- また、従業員が、報復、脅迫や嫌がらせをおそれずに、ハラスメントのいかなる事例も報告できるようにする。

### <強制労働>

- ・強制労働を行わない。
  - ・全ての労働は自発的であること、および、従業員が自由に離職できることを確実に保証する。
  - ・雇用の条件として、パスポート、公的な身分証明書または労働許可証の引渡しを従業員に要求しない。
- なお、従業員は合法的に雇用されていなければならない。

### <賃金>

- ・最低賃金、超過勤務、賃金控除、出来高賃金、その他給付等に関する該当法令を遵守して従業員に給与を支払う。
- ・法定必須給付を支給する。
- ・給与その他給付、福利厚生及び控除は、該当法令を遵守して適時明確に従業員に明細を伝える。

### <労働時間及び安全・健康な労働環境>

- ・従業員の労働時間（超過勤務を含む）を規定する該当法令に従う。
- ・誰もが安心して働けるよう、職務上の安全・健康の確保を最優先とし、事故、災害の未然防止に努める。
- ・職場での健康増進活動や疾病予防の為の指導などを通じて、従業員の健康づくりを支援する。

## 3. 地域・グローバル社会

### <環境>

- ・環境との調和ある成長を目指し、事業活動の全ての領域を通じて、ゼロエミッションに挑戦する。
- ・環境関係法令を遵守すると共に、環境保全活動を推進し、継続的な改善を行う環境マネジメントシステムを確立する。
- ・環境パフォーマンス向上はもとより、環境負荷物質の適正管理に取り組む。

### ＜責任ある資源・原材料調達＞

- ・人権・環境等の社会問題を引き起こす原因となりうる原材料（例：コンゴ産紛争鉱物等\*）の使用による地域社会への影響を考慮した調達活動を行うこととし、懸念のある場合には、使用回避に向けた施策を行う。

\* コンゴ民主共和国及びその周辺諸国から産出される鉱物で、  
且つ同地域の武装勢力の活動資金となっている鉱物

### ＜地域への貢献＞

- ・豊かな地域社会とその発展に向け、それぞれの地域が抱える社会的問題に目を向け、地域社会と協力しながらその解決につながる社会貢献活動を目指す。

### ＜ステークホルダーへの情報の開示＞

- ・経営・財務・環境保全・社会・社会貢献に関連する情報などについて、ステークホルダーに有用な情報を正しく適時に開示するとともに、オープンで公正なコミュニケーションを通じてステークホルダーとの健全な関係の維持・発展に努める。